

南米大陸にご旅行されるお客様へ

■ 南米大陸について

日本やヨーロッパ、北米等と比べると、宿泊施設やレストランの設備、ご移動いただく車両の快適さや道路の整備状況（舗装状況）が劣るところも多く、時間に対しての感覚も日本とは異なる文化であるため普段の生活と比較すると、初めて体験することもあるかと思います。予めご了承いただきますようお願い申し上げます。

○ 航空機の運行スケジュールについて

日本国内やアジア、オセアニア、ヨーロッパ、北米、アフリカと比較しても、航空機の運行スケジュールは非常に流動的なエリアとなります。弊社では販売段階での運行スケジュールをもとに、コース企画を行っておりますが、今後ご出発前までの運行スケジュールの変更や、ご出発後でも変更が発生した場合には急遽行程を変更させていただく場合がございます。

弊社では、お客様にご案内する行程により影響が少ない形で変更後のスケジュールをご案内させていただきますが、変更前の行程よりも慌ただしい行程になったり、機中泊が増える等場合によっては大幅な変更が発生する場合がございます。

他のエリアへのご旅行と比べても、航空機をご利用いただく回数が多い分、運行スケジュール変更の発生で、影響を受ける可能性が多いということや、弊社では航空会社の運行スケジュールに基づいた対応しかできない点を予めご了承いただきまして、南米方面のご旅行にご参加いただきますようお願いいたします。

また、現地での行程変更に伴う追加費用や、体調不良等万が一の際に必要となる費用は、お客様負担となります。航空会社の運行スケジュール変更（遅延・欠航を含む）に伴う追加費用も、旅行会社では免責となりますので、海外旅行保険には必ずご加入いただくことを強くおすすめいたします。

○航空機移動について

日本からの距離も非常に離れた位置に南米大陸はあり、航空機移動の時間も長く、回数も多くなるため、他のエリアへのご旅行と比べても、体力が必要となります。

体力に自信がないお客様は、航空機お座席クラスをプレミアムエコノミークラスやビジネスクラスといった、航空機移動が少しでも楽になるようなお座席の利用や、行程のゆったりとしたコースをお選びいただきますようお願いいたします。

○南米方面のクリスタルハートブランドコースについて

弊社上位ブランド（クリスタルハート）のコースにて南米旅行にお申し込みいただく場合、可能な限り現地での滞在をゆったり、また上位クラスの内容でお楽しみいただけるようコース企画を行っておりますが、日本↔南米間の移動距離や、南米内の航空機運行スケジュールが流動的な点は避けられず、食事やホテルでも土地柄他のエリアより劣る部分がある場合は、他方面の弊社上位ブランドのコースと比べ、手配内容が劣ります。予めご了承ください。

○昨今の海外旅行事情について

コロナ禍以降、円安や物価高、航空券運賃や燃油サーチャージ代の高騰等の影響を大きく受け、海外旅行代金がコロナ禍前と比べると上昇傾向にございます。

特にご旅行日数が長く、航空機を利用する機会が多い南米旅行におきましては、日本円でお支払いいただく金額に対して、コロナ禍以前よりもご旅行代金が上がっているのに内容が上位クラスのものではなかった、とのお声をいただく場合がございます。

現在の海外旅行を取り巻く状況をご理解いただいた上でご参加いただき、必ずしも日本円換算をした際のご旅行代金の上昇により、コロナ禍前と比較し内容がアップグレードしている訳ではないことを予めご了承いただき、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

■観光地に関するご案内

○マチュピチュ遺跡

＜荷物について＞

マチュピチュ村に宿泊するコースは、マチュピチュへの移動の際スーツケースは途中、クスコやウルバンバ、リマなどに置いていきます。マチュピチュ村宿泊分のお荷物を別のカバンにご準備ください。マチュピチュへの列車にはスーツケースの積み込みができません。

＜観光時の滞在時間について＞

2019年1月以降マチュピチュ遺跡保護の観点から、観光滞在時間に制限がかかる可能性や、時間帯により一部箇所がご覧いただけない場合がございます。

＜観光について＞

マチュピチュ村からマチュピチュ遺跡までは、当社以外のお客様を含めた乗り合いバスを利用します。また、マチュピチュ遺跡観光は大きく3つのルートに分かれております。(お選びいただることは出来かねます。)

- サーキット1** – 遺跡上部マチュピチュ遺跡全体を眺望できるスポットにご案内。
- サーキット2** – 遺跡上部マチュピチュ遺跡全体の眺望と遺跡下部市街地内の主要スポットにご案内。
- サーキット3** – 市街地エリアなど遺跡下部にご案内。
(太陽の神殿、コンドルの神殿など)

=====

★重要【ご出発90日前までにパスポート詳細必ずご連絡ください！】★

マチュピチュへ向かう列車・入場券手配の際、お客様のパスポート詳細が必要となります。ご出発の90日前までにご参加者全員分のパスポート詳細(パスポート番号・発行日・生年月日・氏名ローマ字)を弊社までご連絡いただきますようお願ひいたします。

※パスポートをすでにお持ちの方は、お早目に当社へご連絡をお願いします。

※ご出発90日前までにご連絡いただけない場合、ご旅行自体にご参加頂けない事や、追加手配代金をいただく場合がございます。

=====

○ナスカの地上絵

＜ホテル出発時間について＞

リマから日帰りでナスカの地上絵観光にご案内するコースは、観光日前日に遊覧飛行の時間が決定するため、観光日前日にホテル出発時間が決まります（朝一の飛行の場合は、早朝4～5時頃のご出発）。また、遊覧飛行の時間によって、行程が変更となる場合がございます。

＜観光について＞

ナスカとフマナ平原の地上絵遊覧飛行は英語またはスペイン語でのご案内となります。小型飛行機を利用するため、分乗となり、当社以外のお客様とご一緒になる場合がございます（添乗員・ガイドは小型機に搭乗しません）。また、遊覧飛行中は地上絵上空を旋回いたしますので、乗り物酔いをしやすい方は、事前に酔い止め等をご用意ください（お座席はお選びいただけず、ご希望のお席でない場合でも返金はございません）。

当日の天候や現地事情により、ご案内時間の大幅な変更や中止となる場合がございます。観光が中止となった場合、現地催行会社からの返金分をご返金いたします。

＜諸税等について＞

残金請求書又は現地にてお支払いください。

- ・空港税（ピスコ）：約6～7ドル相当

- ・ナスカ観光入場料（ピスコからの遊覧飛行）：約15ドル相当

○イグアスの滝

＜観光について＞

イグアスのボートツアーには乗船規定があり、乗船できない場合がございますので、予めご了承下さい。

【乗船不可規定】※最終的な乗船可否の判断は現地ボート係員の判断となります。

- ・12才未満の方・妊娠中の方
- ・体に怪我をされている、体に障害のある、認知症、感覚的な障害（視覚、聴覚等）があり、緊急時に対処ができない方・判断された方（杖を使用している等）
- ・骨粗鬆症の方・首/背中の治療を受けている、手術をしたことのある方
- ・健康状態の悪い方・心臓に問題のある方、手術をしたことのある方（ペースメーカーの手術も含む）
- ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）の方・肺に問題のある方、手術をしたことのある方
- ・神経疾患有する方、手術をしたことのある方

＜着替える場所について＞

イグアスの滝のボートツアーは滝の中に入ることもあり、全身が濡れます。園内には更衣室等はございませんので、観光前に事前に水着+乾きやすい服装をしていただくか、園内のトイレにて着替えていただきます。

＜ヘリコプター遊覧＞

当日の天候や現地事情により、ご案内時間が大幅に変更となる場合がございます。催行時間の変更により、ホテルの発着時間、観光時間が変更になる場合がございます。予めご了承下さい（お座席はお選びいただけず、ご希望のお席でない場合でも返金はございません）。

＜諸税等について＞ 残金請求書又は現地にてお支払いください。

- ・環境税（イグアスの滝アルゼンチン側）：約2ドル相当

■高山病に関するご案内

南米大陸には、クスコ（標高 3,360m）、ブエノスアイレス（標高 3,830m）、チチカカ湖（標高 3,812m）、ラパス（標高 3,640m（空港は 4,060m）、ウユニ塩湖（標高 3,660m）、ビジャマール（標高 4,000m）、ラグーナベルデ（標高 4,300m）、ラグーナコロラダ（標高 4,278m）など、標高が高い観光地や宿泊地があり、頭痛や吐き気といった高山病（高度障害）を起こす場合があります。

●高所では気圧が下がるため空気が薄くなり、それに応じて含まれる酸素の量も減ります。体がそのような環境になれることができず、いくつかの特徴的な症状が発症した場合、高山病と判断されます。高山病は、一般的に標高 2,500m ぐらいから発症する可能性があるといわれており、

訪れる人すべてに高山病発症の可能性がございます。

●高山病の代表的な自覚症状は次の5つです。

1. 頭痛（これが一番基本的な症状とされています）
2. 消化器症状（食欲不振、吐き気、嘔吐など）
3. 疲労、脱力感
4. めまい、ふらつき
5. 睡眠障害

●高山病になった場合の治療法として

最も基本的で効果的なことは、高度を下げる（下山）ことです。

楽になる所まで下がることが大切です。症状が軽い場合は、それ以上高度を上げずに留まるだけで

体が慣れてくることがあります、留まっていても次第に具合が悪くなる場合は、ただちに高度を下げる必要があります。

止むを得ない理由で、下がることができない場合は、酸素吸入や内服薬による治療を考慮しなくてはなりませんが、

そのためには事前の準備が必要です。ただし、これで完全に治せるわけではなく、若干、時間かせぎができる程度と考えるべきで、下山にまつる治療法はありません。

●高地では下記の動作を心がけてください。

1. 激しい運動を避け、ゆっくりと行動するようにしてください。深呼吸も有効です。走ったり大声をあげたりするのは禁物です。

2. 入浴の際は、熱い湯船にはつからず、シャワーだけで軽くお清ませください。

3. 飲酒、喫煙、食べ過ぎは避けてください。

4. 水分は普段より多めに補給してください。トイレに行きたくないからと、お飲みにならない方もいらっしゃいますが、これは体に良くありません。喉が渇いてからではなく、意識的に飲むように心がけましょう。

●心臓、肺、血圧、糖尿病等に関する疾病をお持ちのお客様は、事前に主治医の先生に旅行参加のご相談をされることをおすすめします。

●日本から酸素缶を持ち込むことは航空法に基づきできません。

●旅行中、高山病の症状が見受けられた場合、弊社の判断で下山していただくことがございます。その場合、現地係員を同行させていただきますが、それらの下山に関する費用はお客様のご負担となりますので、予めご了承願います。

南米現地情報

最高平均気温(℃)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東京	9	10	13	18	22	25	29	30	26	21	16	12
リマ	26	27	26	24	22	20	19	19	20	21	22	24
クスコ	17	17	17	18	18	18	18	18	18	19	19	18
イグアス	32	32	31	28	24	21	22	25	27	29	30	32

最低平均気温(℃)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東京	3	3	6	11	16	20	23	24	21	15	10	5
リマ	20	20	20	18	17	16	16	15	15	16	17	19
クスコ	7	7	16	5	2	1	0	2	4	6	6	7
イグアス	21	21	20	18	14	13	12	14	14	18	19	21

■南米旅行の不安を出発前に解消！よくあるご質問■

- クレジットカード ⇒ VISAやMASTER、AMEXなどの外資系ブランドであれば、ホテルやレストラン、大きな土産物屋空港など観光客が利用する場所ではほとんどご利用可能です。一部ご利用いただけない場合もございますので、現金もお持ちください。
- ご両替 ⇒ 南米諸国では各国の通貨が使用されておりますが、アメリカドルも流通しており、そのままご利用いただくことが可能です。おつりは現地通貨となりますので、アメリカドルの少額紙幣をご用意ください。
- 物価 ⇒ レストランではビールで5~10アメリカドル、グラスワインで7~12ドル、ジュースで5~8ドルほどです。
- チップ ⇒ 欧米諸国と同様にチップの習慣がございます。
- 日本の電気製品の使用 ⇒ 110~220V/50Hzまたは60Hzと電圧は日本と違います。お持ちの電気製品に変圧機能がない場合には変圧器が必要です。コンセントはAタイプ（日本と同じ）もしくはCタイプ（●●（丸い穴が2つ））のものが主流です。
- 水道水 ⇒ 飲料としては適しておりません。ミネラルウォーターは現地で購入することが可能です。
- 治安 ⇒ 他地域に比べてとりたてて観光客が巻き込まれる強盗事件などが多いわけではありません。ただし、ホテルや空港などではすりや置き引きなどが多いので、ご自分の荷物から目を離さないようにしてください。ご旅行中は過度の装飾品や高価な時計などの目立つものは身に着けないほうがよろしいかと思います。外務省より危険情報が発令されております。ホームページをご確認ください。

数多くの謎に包まれた

南米大陸を巡る

SOUTH AMERICA

有史以前から、ほかにはない独自の文化をつくり、豊かな文明を築いてきた南米大陸。やがて訪れる大航海時代により異文化の混入が起り、興亡する都市の遺跡やその名残りが、静かに、雄大にその文明を伝え続けているのです。

南米MAP

South America

ペルー
国内MAP
Peru

マチュピチュ
遺跡までの
道のり



南米MAP

South America

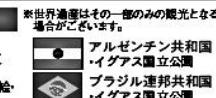


イグアスの滝



マークの見方

- 飛行機で移動
- 電車で移動
- バスで移動



世界遺産はその一部のみの観光となる場合がございます。
ペルー共和国
・マチュピチュの歴史保護区
・リマ歴史地区・アレキバ
・ナスカとマナ平原の地上絵
クスコ市街
アルゼンチン共和国
・イグアス国立公園
・アルゼンチン共和国
・イグアス国立公園
・ブラジル連邦共和国
・イグアス国立公園

世界 遺産

アンデスの山深くに抱かれた、インカ帝国・幻の空中都市へ
マチュピチュ歴史保護区をゆく



D 見張り小屋から全景が見渡せます!

マチュピチュ観光Q&A

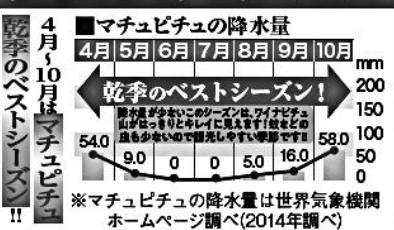
Q.マチュピチュ観光って?

A. 通路の中にはお手洗いはありませんので、お手洗い(有料:1ソル)を済ませ、不要な荷物が多め、荷物預け所有料:5ソル)へ荷物やウォーキングブレーカー、帽子、虫除け、日焼け止めはお持ください。準備が整ったらよいよ通路の中へ!入り口から段々傾斜を登っています。マチュピチュの標高は2460mですので、ゆっくりと自分のペースで歩きましょう。石畳や土など歩道はすでに石の階段もありますが一部、足場の悪い所もあります。約30分ほどで、通路を見渡せる「見張り小屋」へ到着です。ここでゆっくり写真を撮る時間をお取りいたします。島ついたところを通路の中へ降ります。説明を開きながら、インカ時代の石造りの高さと技術などを堪能ください。マチュピチュ通路内は日差しを遮るために、虫除けが必須品です。虫除けは電池式の液にぶらさげるなどの便利です。約2時間30分ほど、通路を歩く時間は、通路観光は歩いての観光となります。

Q.マチュピチュ観光にはどんな服装で行けばいいの?

A.長袖シャツ・ウインドブレーカー・ズボン・帽子・リュックサック・靴などは必須です。日焼け止めは必須品!靴は運動靴やウォーキングシューズなどの履きなれているものでOKです。アルパカイメージ

降水量の少ない4月~10月のマチュピチュ



クスコ市街

街の至るところに石積みの壁と宗教施設だったとされる遺構が残り、茶色の屋根で統一された街並みは、夜になるとその表情を一変させ、昼間とはひと味違った美しい光景を見せてくれます。

インカ帝国

の首都として栄えたクスコ



マチュピチュ遺跡MAP

Machu Picchu



A インティワタナ(日時計)

マチュピチュの最高地点に立つ大石を削って造られた高さ1.8mの建造物。

B コンドルの神殿と牢獄

コンドルは太陽神の使者とされており、地面に置かれた三角の石が頭部、その後ろの岩を翼に見て、祀っていました。罪人を投獄したり、刑罰を与える場所だったのです。

C 太陽の神殿

マチュピチュで唯一曲線を描く美しい建物。窓に当たった太陽の光を反射させていたといわれています。入口下方には毒蛇の通路と呼ばれる鋸角に曲がった不思議な穴があります。

うなりを上げて大地を呑み込む驚異の大瀑布

世界
遺産

イグアス国立公園

IGUAZU NATIONAL PARK

アルゼンチンとブラジルの国境に位置し、2,256kmにわたって広がるイグアス国立公園。この熱帯雨林地帯に、多大な恵みを与え続けているのが、世界三大瀑布のひとつとして数えられるイグアスの滝です。先住民の言葉で「大いなる水」という意味をもつ滝に迫り、ダイナミックな自然を体感します。

轟音と驚異の大瀑布
地球の鼓動が聞こえる



世界
遺産
イグアス国立公園／悪魔ののど笛

アルゼンチンとブラジルの国境に位置し、2,256kmにわたって広がるイグアス国立公園。この熱帯雨林の中を落差約80m、全長約46m、大小約300もの滝が流れ落ちる様は圧巻です。そのスケールの大きさから「世界三大瀑布」のひとつとして数えられています。

イグアスの滝／イメージ
イグアスの滝はブラジル側アルゼンチン側双方より観光いたしますが、内する網は気温・天気などによっても異なります。



ブラジル側
ルート

ブラジル側は滝を下から見上げます。風向きによっては、水しぶきが天然のシャワーのようです！

A



イグアス川に沿って作られている歩道を歩きます。歩道からは対岸のアルゼンチン側の滝を見ながら歩きます。

B



いくつの滝を見ながら歩道を進むと、1つ目の展望地に到着します。ここからは美しく連なる滝をご覧いただけます。

C



さらに歩いていくと滝を間近で見られる展望地に到着します。あまりに近いため、水がスローモーションで落ちて行くような不思議な光景をご覧いただけます。

D



最後の展望地からは滝を上から見下ろします。滝が落ちる瞬間の様子はまさに「吸い込まれそう」という表現がぴったりです。



アルゼンチン側
ルート

アルゼンチン側は滝を上から見下ろします。滝が落ちる様子を間近で見ることができます。迫力満点です！

1



トロッコ列車に約15分ほど乗ると終点駅に到着。ドアはありませんので、天気や季節によっては肌寒く感じる事もあります。ウンドブレーカーなどを持て行くとよいでしょう。

2



終点駅からは歩道を歩きます。水の上にできている歩道ですので、水量が多い時などは歩く場所が濡れている事もあります。日除けがありませんので、帽子は必要です。

3



イメージ

一番のハイライト「悪魔ののど笛」に近づくと、滝の轟音が聞こえできます。展望台からは力強くなだれ落ちる水の勢いと舞い上がる水煙に圧倒されます。

イグアスの滝観光時の服装

長袖Tシャツ・雨カッパ・ズボン・帽子・日焼け止め・虫除け・スニーカー

【チケット】日本からカメラの水除けに「シャワーキャップ」などを持っていくと便利です。

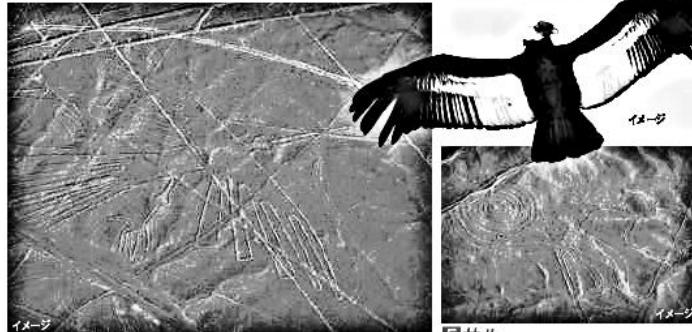


荒野に刻みつけられたナスカ人のメッセージ

世界遺産 ナスカとフマナ平原の地上絵

LINES AND GEOGLYPHS OF NASCA AND PALPA

ペルー南部、アンデス山脈と太平洋に挟まれた、450km²もの荒野に描かれた巨大な絵や幾何学模様。古代ナスカ人は、現代にどのようなメッセージを残したのか。その意図、方法は、発見から半世紀経った今も解明されていないのです。



イメージ

7 コンドル

ペルーでは昔から神聖な鳥として崇められてきたコンドル。見えることから、地上絵は星雲や星と関連があるので、という説もあります。



イメージ

5 サル

全長110mのサル。北斗七星にも見えることから、地上絵は星雲や星と関連があるので、という説もあります。

ナスカの地上絵観光Q&A

Q. ナスカの地上絵はどのように観光するのですか？

A. ナスカの地上絵は軽飛行機に乗り地上を観光いたします。軽飛行機は主に12人乗りになる事が多いですが、何時に飛ぶのか？何人で乗るのか？などは、その日の状況によって異なります。時には空港で1~2時間お待ちいただく事もございます。地上絵の周りを右に傾け一周、左に傾け一周というように、旋回しながら、だいたい6つぐらいの地上絵を遊覧観光いたします。酔う方もいらっしゃいますので、日本より酔い止めをお持ちいただき、乗る前に飲んでいただくことをお勧めしております。パイロットが書いた言葉で「右へコンドルへ」と案内をしてくれるのですが、見逃す事はありません。



イメージ



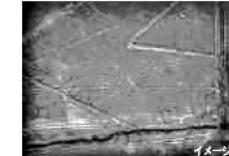
1 クジラ

ペルー沖には生息していないはずのクジラの姿も見ることができます。他にも海の生物としてはシャチが描かれています。



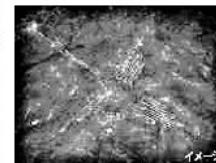
4 宇宙飛行士

地上絵群からは少し離れた山肌に描かれたものの。全長32mで、この姿が異星人と地上絵を結びつける説につながりました。



8 クモ

アマゾンに生息すると思われるクモ。遠く離れたアマゾンとなんらかの交流があったのでは、と考えられています。



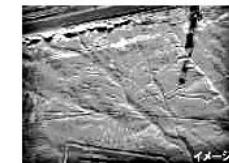
9 ハチドリ

数ある地上絵の中でも保存状態が良く、全長100m前後のハチドリの絵。南米では比較的よく見かける鳥です。



11 ペリカン

首が上下に波打った、長いクチバシのペリカン。本来のペリカンの姿がコミカルにデフォルメされています。



14 木

全長70mの木。植物であることに違いないが、何の植物かということは未だ解明されておらずいろいろな説があります。

持ち物について

・パスポート（盗難に備えてコピーも）

・洗面用具（シャンプー、リンス、歯みがきセットなど）

・パジャマ、スリッパ（飛行機内でも大変便利です。）

・帽子、サングラス、日焼け止め

・ウェットティッシュ

・変圧器、プラグ（マルチプラグがおすすめ）

・雨具、水着（イグアスの滝）

・常備薬・酔い止め・虫よけ

